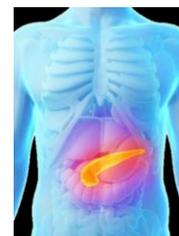


# 膵臓ドック

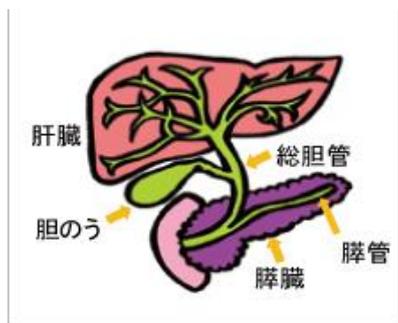
膵臓癌は発見が難しいと聞いたことはありませんか？

膵臓は胃の後ろにあり、長さ20cmほどの細長い臓器です。膵臓癌はほかのがんと同様に早い段階で特徴的な症状はありません。見つかった時にはすでに進行していることが多く5年生存率（がんと診断されてから5年ご生存している人の割合）は他のがんに比べてとても低いです。早期発見がとても重要です。



当健診センターでは、2021年4月から膵臓ドック…【MRCP・腹部エコー・採血（腫瘍マーカー・膵臓系血液検査・リスク検査）】を実施します。

MRCPとはMRI検査の一種で、胆のう、胆管及び膵管を画像化する目的に絞った検査のことです。



MRCP検査ではボーステルという消化管用造影剤を経口摂取していただきます。造影剤でも一般的に使用される血管内に投与するものとは違います。水分に近いものです。摂取することで胆道や膵管の抽出能力を向上させます。

- ★胃カメラと同じ日に行えます。
- ★バリウム検査は同じ日には実施できません。
- ★妊婦又は妊娠している可能性のある方は実施できません。
- ★マンガンを含むので、まれに軟便・下痢などの症状がおこる場合があります。
- ★ボーステルにアレルギーのある方はお問い合わせください。

## こんな方におすすめ

- ・タバコを毎日吸う・吸っていた
- ・週に5日以上お酒を飲む
- ・糖尿病
- ・肥満
- ・膵臓癌の家族歴のある方

## 膵臓ドックの料金（完全予約制 月～金の午前中のみ）

単独コース・人間ドックと同時に実施可能

MRCP  
腹部エコー  
腫瘍マーカー（CA19-9・CEA）  
（Span-1・DUPAN-2）  
アミラーゼ・アミラーゼ分画  
Prodrome-PAC（リスク検査）

55,000円（税込）



お問い合わせ・お申込み

岸和田徳洲会病院 健康管理センター

TEL；072-445-9908 FAX；072-445-9975

13：00～16：30（日・祝休み）